



< MAKUHARI BAY-PARK フォトコンテスト 仮囲いアート作品 >

キャッチコピー「いま、私、この街と」

「いま、私、この街と」が表すのは、「いま、私、この街と ○○」という解釈で、
○○には鑑賞する人それぞれの街への想いや街との関係の言葉が何万通りと入り、広がりを感じさせる。
ベイパークで暮らす人、働く人、通学途中の学生など、街に関わる人と街との様々な関係を、フォトコンに応募頂いた写真と共に表現している。

挿絵、背景画

仮囲いの背景の絵の色合いは、背景が真っ白な右端から左端へ徐々に色味を帯びるグラデーションになっている。
これらは、何もなかった埋立地から、様々な人の“今（＝写真）”が散りばめられて、
”街”や“そこに集う人の人生”が色鮮やかに豊かになっていく様子を表現している。

挿絵の女の子が表すのは、街に住む”人”や”街自身”であり、
赤いリボンのついた麦わら帽子を被る幼い子が成人へと成長していく、同一人物の成長とこの街の成長をリンクして描いている。

右端にある新芽は時の経過によって、左端の色鮮やかに花咲く”サルスベリの木（公園のシンボルツリー）”に育っていく様子を描くことで、
街が長期的に繁栄していくことへの願いを表現している。